

【評価のポイント】 心技体を総合評価

(平成 29 年度より B 級審査においても体力試験を実施する)

1. 人間性：礼儀や態度(競技規則筆記試験の結果も真面目かどうかを反映)
 - ・コート上でのおだやかな振る舞いと、毅然としたボディーランゲージ
 - ・大会の構成員としてのレフェリーグループ、仲間、チームとは？
2. 技 術：レフェリーの仕事の目的は？
 - ① **首尾一貫性**：最初の 5 分間とは？
 - ・ 競技開始の直後でも、即座に 2 分間退場・レッドカードを出せる 準備
 - ・ プレー(特に相手に対する動作)に対して、明確な基準を知らせる
 - ・ Prevent Action(これ以上はさせない、予防的な動作)
 - ② **笛の音色**：プレーヤーや観衆にとって重要。目が不自由な観衆も存在する。
 - ・ スピーディなハンドボールを演出するために判定のジェスチャーより大切
 - ・ 強弱長短を使って表現
 - ③ **プレー評価**：特にナイスディフェンスにより惹起されたオフェンスのミス
 - ・ 防御側の権利の保障。ルールは「攻撃側」「防御側」に平等に存在する。
 - ・ 安易に「攻撃側」有利な、フリースローハンドボールにしていないか
 - ④ **罰則の適用**：相手に対する動作とスポーツマンシップに反する行為
 - ・ 危険につながる行為(注意・YC)を見極め、危険行為(結果的に相手の安全を軽視する行為=2分間退場,RC)を排除。
 - ・ Prevent Action(これ以上はさせない、予防的な動作)
 - ・ 真の教育的配慮とは？
 - ・ 競技の本質を根底から覆すような行為(シミュレーション,目隠し,ウイングポジションにおける防御側のロングステップ等)を排除
 - ⑤ **位置取り・立ち居振る舞いと任務分担**：審査急造ペアでも常識的な範囲で
 - ・ セット攻撃時の姿勢と観察位置=攻防の「間=ボール」を観察できる位置を
 - ・ 速攻(リスタート、ターンオーバー)時の走路・走法と観察位置→特に重要!
 - ・ 正しいジェスチャー(オリジナリティは不要)
 - ・ 任務分担の考え方(ボールの有無,ゴールエリア際,ピボットの観察)
 - ⑥ **ミス**：基準ではない(ミスはあくまでミス)
 - ・ Small Potatoes と Big Potatoes
 - ・ 大きなミスをしないためのゲームコンディション
 - ・
3. 体 力：日頃のトレーニングの成果を！ 仲間意識をもって励まし合いながら！

【上達のために】 審査結果の如何にかかわらず

審判員の倫理綱領(競技・レフェリーハンドブック)に従えば自ずと道標は …